

心サルコイドーシスに合併した心室頻拍を生じ心臓血管内科で受診されたことのある患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

2009年1月1日から2019年11月1日までに心サルコイドーシスに合併した心室頻拍を生じ治療（抗不整脈薬、デバイス植え込み、カテーテルアブレーション）を受けた患者さま

研究課題名

心サルコイドーシスに合併した心室頻拍の特徴ならびに抗不整脈薬・アブレーションの有効性に関する研究：JHRS 多施設共同研究

研究責任者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 担当医師 草野研吾

研究の目的

心臓サルコイドーシスに合併した心室頻拍に対する治療選択・有効性、長期予後を明らかにするため

利用する診療情報

- 1.患者の特徴: 年齢、性別、初発症状、既往歴、内服薬、ステロイドまたは免疫抑制による治療の有無と期間、心サルコイドーシスの診断確定日とVT（心室頻拍）発症日時、他臓器のサルコイドーシスの有無
- 2.検査所見（診断時、またはアブレーション直前）:12誘導心電図血清ACE値、血清リゾチーム値、血清sIL-2R値
- 3.画像検査:胸部CT所見、MRI、PET、心エコー所見
- 4.診断基準 心臓病変の臨床所見
- 5.デバイス植え込みの有無と種類

6. 心室頻拍の波形（心電図添付）
7. マッピング情報三次元マッピングシステムによる不整脈基質の特徴
8. アブレーション方法、心室頻拍起源の同定方法、焼灼部位、総エネルギー、総通電時間、通電中の停止の有無
9. 急性期結果誘発モードSuccess, Modified, Failure
10. 長期結果再発の有無、デバイスアップグレードの有無

外部機関への研究データの提供

上記のカルテ情報を、共同研究機関に提供して、共同で研究を進めます。共同研究機関は約15施設の予定です。

・ 主な共同研究機関及び研究責任者

- 1.研究責任者：杏林大学医学部循環器内科学 教授 副島京子
- 2.筑波大学 教授 野上昭彦
- 3.岡山大学 講師 渡邊敦之
- 4.慈恵医科大学 教授 山根禎一
- 5.東京医科大学 准教授 里見和浩

研究期間

研究許可日より 2022 年 12 月 31 日まで（予定）

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

問合せ先

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 担当医師 草野研吾
電話 06-6170-1070(代表)